

經典余師集成

全 10 卷

残部
数組
2026.1

溪百年 編注 底本書誌解説：小泉吉永 [大空社 2009 刊]

A5 判・上製・総 4600 頁

揃定価（本体 138,000 円＋税）＊分売不可

第 1 回 6 卷（1-6 卷） 978-4-283-00728-4 定価（本体 84,000 円＋税）
第 2 回 4 卷（7-10 卷） 978-4-283-00729-1 定価（本体 54,000 円＋税）

学術資料出版
大空社出版
www.ozorasha.co.jp

■江戸に漢籍独学ブームをまき起こした大ベストセラー
〈全 10 部 60 卷 51 冊、天明 6- 天保 14〉。だれでも読める
画期的スタイルが江戸庶民の向学心を沸き立たせた。
四書五経などの儒教經典。

東京都東村山市秋津町 5-24-13-101
(〒189-0001)
TEL:042-306-3383
FAX:042-306-3384
eigy@ozorasha.co.jp

全10巻構成

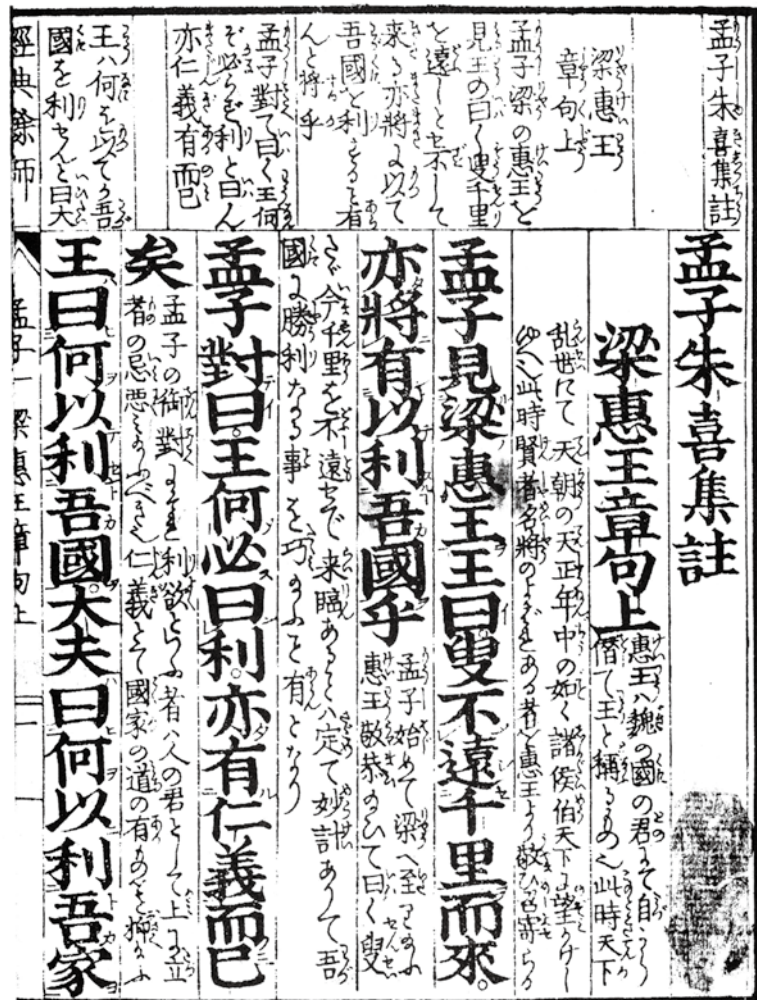
1. 四書（大学・論語）
2. 四書（孟子）
3. 四書（中庸）・四書序・孝経・弟子職・孫子
4. 小学
5. 詩経（国風・小雅）
6. 詩経（小雅・大雅・頌）
7. 書経
8. 易经
9. 近思録（道体類～家道類）
10. 近思録（出处類～觀聖賢類）



私も手にした
かもしれない...

5

四書（孟子）



読み下し「頭注」 本文 注「小字」

(見本縮小)

中庸
朱熹章句
子程子曰不偏之謂中不易之謂庸
中者天下之正道庸者天下之定理
此篇乃孔門傳授心法子思恐其久而差也故筆之於書以授孟子
而差也故筆之於書以授孟子
其書始言理中散為萬

大學序
大學之書古之大學所以教人之法
也
蓋自天降生民則既莫不與之以仁義禮智之性矣

孝經
開宗明義章第一
仲尼問居曾子侍坐
子曰參先王有至德要道以訓天下
民用和睦上下亡怨女知之乎

弟子職
任兆麟集註
子朱子曰弟子職古者小學之書
周衰孔子取而傳諸其徒自入學
受業事師之法也今分章句參

孫子卷上
始計第一
孫子曰兵者國之大事
死生之地存亡之道不可不察也

題小學
古者小學教人以灑掃應對進退之節
愛親敬長隆師親友之道皆所以為
修身齊家治國平天下之本

小學卷之六
司馬溫公曰凡諸界幼事無大小毋
得專行必咨稟於家長凡子受父母
之命必籍記而佩之時省而速行之
事畢則返命焉

詩經	詩經	詩經の六詩調子、篇名、章句、の歌、うゝ 附の御世、國々の義、是等の歌、詩と取、つて 天子に獻じ、天子とんと帝室の前、奏す その、其土地の風俗、一々の人情、を察す	知る、ひる、事、たゞ、今、一教、を、たゞ、り、て、經、書、に 備へ、九、上、立、政、務、と、取、の、人、上、下、の、情、 と、可、知、と、解、一教、たゞ、人、間、と、ん、若、必、 男、女、貴、賤、貧、富、の、人、の、情、を、うゝ	國風一	國風一	國風一 風、舞、を、知、く、人、情、の、動、を、 詩、國風二雅頌の四、の、一、の、義、を、 一、在、の、へ、ん、と、つ、て、つ、つ、人、情、の、善、 と、惡、を、哀、と、樂、と、愛、と、惡、と、を、の、七、 賦、の、情、と、知、富、と、知、く、高、位、に、在、て、 賤、の、情、と、知、富、と、知、く、貧、富、の、情、と、 知、の、と、一、を、知、と、見、る、勤、と、惡、と、見、る、 德、と、一、を、其、詩、古、雅、と、く、本、邦、男、 女、の、歌、と、	國風一	國風一	類の和歌
----	----	---	---	-----	-----	--	-----	-----	------

<p>詩經卷之四</p>	<p>小雅二</p>	<p>鹿鳴之什之二</p>	<p>鹿鳴三章</p>	<p>五</p>
<p>小雅二 風と小雅と一體の異なり、按の 鈴と風と言葉の外に意味なり。雅 は正しく直うその事と云ひのべり。大雅は 天子諸侯の會宴祭祀等に用ふ樂歌 詩は小雅は群臣賓客樂贊の 時に用ふ樂歌なり。</p>	<p>○鹿鳴之什之二 國風の如く、 十篇の詩と云。楚と周南召南と云ふ 華等と云ふは、周南召南と云ふ 歌ト歌謡ト詩人と別組と爲と 什といふの例と以て各アケル。</p>	<p>鹿鳴三章 一の詩は君より我群の臣 下まで他國の賓客と 饗宴の時うたふ歌なり。後の世うたへる人 ともとて用ゐたり。鹿は物と食するに連</p>	<p>五</p>	

<p>詩經卷之五</p>	<p>○祈父之什之三 <small>祈父のまゝに</small></p>	<p>戰士 <small>せんし</small></p>	<p>祈父三章 <small>よつ詩に戰役のまゝなり</small></p>	<p>戰士 <small>せんし</small></p>	<p>祈父三章 <small>よつ詩に戰役のまゝなり</small></p>	<p>祈父三章 <small>よつ詩に戰役のまゝなり</small></p>	<p>祈父三章 <small>よつ詩に戰役のまゝなり</small></p>	<p>祈父三章 <small>よつ詩に戰役のまゝなり</small></p>	<p>祈父三章 <small>よつ詩に戰役のまゝなり</small></p>
--------------	--------------------------------------	------------------------------	--	------------------------------	--	--	--	--	--

詩經卷之八

頌四 頌の清は武廟の號なり功と成り徳とを以て神明を告ぐべしとの字の形容なりと渾々と神徳の形容なり

○周頌清廟之什四之一 清廟は清廟の意なり夏玉の廟所なり廟といふは宗と祭靈あり墓所よりいへば上は頌四といふ第一と國風第二と小雅第三と大雅第四との頌たる處にてはるゝもの義也

清廟一章 上下篇あり

於穆清廟肅雝顯相濟濟多士秉文之德對越在天駿奔走在廟不顯不

經典餘師

周書
周ハ文王の國號也武王
 因テ天下ノ號と爲ス

泰誓上
天下ノ成民、
 天ヲ敬フ、
 天ニ畏ル、
 天ノ德ニ歸服ス

周ト天子ト云フハ一ツミナリ
 王諸侯ト云フハ二ツミナリ

惟十有三年春大會于孟津王曰嗟

尚書の吏と書をいふ
虞書の初なるものなりを先帝といふ聖人からの作はて第二虞の代に記す書
堯典父帝初代堯帝より天下を治むる典として示したること
曰若稽古帝堯曰放勳欽明文思安安允恭克讓
安允恭克讓日若稽古の帝堯は放勳を御徳あり勲つちく思慮よくして萬事安んずる高きことなり
被四表格于上下克明俊德以親九族之親一曰九族之親一曰九族之親一曰九族之親



9. 近思錄 (道體類~家道類)

